

平成24年度 教育委員会事務の点検・評価の概要

－「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づく評価－

I. 教育委員会の活動

- (1) **会議の運営** 月1回の定例会を年12回開催、事前に配布した資料に基づき審議の活性化に努めた。
- (2) **保護者及び地域住民への情報発信** 教育委員会の役割や活動を理解してもらうため、地位住民と接する機会や分かりやすい広報活動が今後とも必要である。
- (3) **事務局との連携** 事務局長、学校教育係長の他、社会教育主幹も会議に参加し定例会の活性化を図った。
- (4) **首長との連携** 本年度は、三浜小学校と南中小学校統合の進捗状況や町内各学校におけるいじめの現状などについて意見交換の場を持ち、懸案事項について話し合うことができた。
- (5) **教育委員の自己研鑽** 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会や県市町新任教育委員研修会及び南伊豆東中学校の町教委指定研修発表会への参加等で研鑽を深めた。なお、来年度は県市町教育委員研修会に委員全員で参加したい。
- (6) **教育施設の条件整備** 園・学校訪問を通して修繕箇所の確認を行うとともに、委員が在住地区の運動会や入学式・卒業式に出席した。また11月には「三浜小学校と南中小学校の統合に関する基本方針」について審議し、統合計画を委員全員の承認のもとに進めることができた。

※ いじめ自殺問題や体罰事件から教育委員会そのもののあり方を見直す機運が高まった1年であった。今後、県及び国の動向に注目していく必要がある。

II. 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) **教育行政に関する一般方針** 「平成24年度教育委員会重点施策」を6月定例会で確定した。
- (2) **職員の任免及び懲戒** 小中学校教職員人事異動の内申案について2月定例会で承認、認定こども園、南崎保育所の教諭・保育士・給食調理員等の町職員人事についても町長部局に上申後、3月の定例会で承認された。なお、軽度なスピード違反等の交通事犯がみられたが懲戒対象はなかった。
- (3) **学校その他教育機関の設置及び改廃** 南伊豆幼稚園と南上保育所及び差田保育所を統合し、南伊豆認定こども園（南伊豆幼稚園、南伊豆保育所、地域子育て支援センター）を設置した。
平成26年3月31日に三浜小学校を廃校し、平成26年4月1日から南中小学校に統合するための手続きを開始した。11月に「統合に関する基本方針」を制定、両校で保護者・地域住民説明会を実施した。
- (4) **規則制定等** 次年度、新たに南中小学校に特別支援学級（情緒）が開設されることに伴う通学する児童の学校指定の規則改正及びその他事務手続き等に関する規則等の改正を行った。
- (5) **工事計画の策定** 入札により中央公民館解体作業を終了、更地にした。解体工事費約1,400万円。南伊豆東小学校のプール改修工事に430万円、小中学校の洋式

トイレ設置工事に約 340 万円の経費がかかった。なお、来年度は三浜小学校の廃校に伴う跡地利用を策定していく年となる。

- ※ 幼保臨時職員の待遇改善、正規職員と臨時職員の人数バランス問題等について毎年議論されるが、今後とも繰り返し町当局に継続要望していく必要がある。

Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

- (1) **保育・幼稚園教育** 4月開園した認定こども園(162人)と南崎保育所(61人)の2施設体制で就学前乳幼児の保育と教育に当たることになった。集団規模の拡大に伴う遊びや活動の広がり、社会性やコミュニケーション能力の育成において成果がみられた。一方、こども園の組織系列の整備、通園道路の拡張等の喫緊な課題も残された。
- (2) **学校教育** 確かな学力の育成と地域体験学習の推進は本町教育の重点課題であり、各校では地域に根ざし小規模校のよさを生かした魅力ある授業づくりに意欲的に取り組んだ。また町費負担による複式学級・特別支援教育支援員や各種相談員の配置、ALT事業等、学校支援体制がより充実してきている。
- (3) **社会教育** 町民のニーズに応えながら、芸術祭、成人式、市町駅伝等の定例行事、ふるさと学級、通学合宿等の青少年育成行事や文学講座等の臨時的行事の実施、武道館・体育館等の貸出業務、文化財保護業務等々の多種多様な活動を展開した。町史編さん事業も3年目に入り、寺院の悉皆調査も終了し、「寺院編」発行に向け執筆中、来年度発行予定。日詰遺跡出土品の展示や平安・鎌倉期の仏像の町文化財指定に向けた取組も予定されている。
- (4) **図書館経営** 本町らしい利便性を求める貸出業務(23配本所、宅配サービス等)、児童向け・親子向け・大人向けなどの多彩な読み聞かせ「ピロシキ」の活動展開。「石垣りん文学記念室」記念事業として田中和雄氏を講師に三浜小学校と南上小学校で詩の出前授業を実施。詩を書く楽しさを通じて石垣りんについて知る好企画な取り組みであった。なお、中央公民館廃止に伴う図書館利用者の減少に対する対策は、今後の課題である。

- ※ 社会教育・生涯学習を推進し社会教育の質を向上させるため社会教育主事の配置を要望していきたい。また町史編さんに専属の学芸員を配置したいが、今後の課題である。全体として教育委員会の委任事項は確実に実行されている。

Ⅳ. 昨年度評価結果への対応

- (1) **教育委員会の活動** 「開かれた教育委員会」であるためには、普段から保護者や地域住民の声を聞き真摯に対応することが大切であり、統合に当たって両校からの意見・要望を聴取できたことは、信頼関係を構築する上でも有効であった。
- (2) **教育委員会が管理執行する事務** 認定こども園開園1年目の成果と課題及び保護者アンケート結果などに基づき、今後、南崎保育所の認定こども園化に向けた取組を検討していきたい。
- (3) **教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務** 地域と連携した特色ある体験

活動の奨励と基礎学力・確かな学力の育成は、本町の最重要課題の一つである。
両者の関連性を検証し、行政としてできる学校への支援策を探っていきたい。

V. 学識経験者の知見

- (1) 教育長は知っていても教育委員長は知らないなど地域住民にとって教育委員会組織や活動を知られていない現状がある。非常勤である教育委員の仕事を知らずともらう改善努力を続けたい。
- (2) 教職員による体罰、いじめや不登校等の問題行動は起きてからの対応では遅い。教職員の不祥事根絶やいじめ等の解消に向けて学校への適切な指導と支援を推進したい。
- (3) 社会教育の諸行事活動の中、中央公民館で実施してきた活動が公民館廃止に伴い庁舎、武道館、学校体育館等に分散移動して実施されるようになった。1年経過した現在、代替施設では十分な対応ができないという利用者の声も参考にして改善に努めていきたい。